

平成30年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曽地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
1	保健、医療、福祉の充実	ソフト	地域の皆さんと一緒に認知症予防!	特定非営利活動法人のぞみの里	認知症への理解や予防方法・専門的な療法等についての理解を深め、関心を持ってもらうため、講演会を開催する。 ①講師謝金等(481千円)、会場使用料(32千円)、印刷製本費(83千円)、消耗品費等(27千円)	620,743	385,000	講演会の実施により、認知症及びその予防に対する理解を深める機会となった。目標する参加者数には届かなかったため、広報活動を郡内へ幅広く行うなど検討が必要である。
2	保健、医療、福祉の充実	ソフト	急病時の対応啓発事業	木曽広域連合	急病・事故等の際、住民自らが対応と緊急性の判断ができるようにするための冊子を作成するとともに、ケーブルテレビでの啓発番組を制作する。 ①パンフレット作成(837千円)、啓発番組制作(388千円)	1,157,220	925,000	緊急時対応の冊子を郡内及び塩尻市檜川地区へ全戸配布したことにより、住民の緊急時における救急車利用に対する不安感を取り除き、適切な救急車利用につながることを期待できる。
3	保健、医療、福祉の充実	ソフト・ハード	スポーツによる村民の健康推進の拠点整備	奥木曽グリーンリゾート株式会社	こだまの森(指定管理施設)にボルダリング及びスラックラインを設置し、村民の健康増進に寄与する。 ①スラックラインの設置(175千円) ②ボルダリングの設置(2,916千円)	3,090,500	1,847,000	普段から体力づくりに取り組める施設として、全天候型の運動施設を設置し、無料で地域住民に開放したことは十分評価できる。今後は、事業の拡大に伴い、更なる住民の健康寿命の延伸に寄与されることを期待する。
4	教育、文化の振興	ハード	らっぼしよ伝統文化継承事業	らっぼしよ保存会	日義木曽義仲旗挙げ祭りの主要行事である無形民俗文化財「らっぼしよ」に使用する山車と山車の格納庫を地域住民で作製する。 ②山車土台リヤカー改修(669千円)山車製作(301千円)格納庫製作(342千円)	1,475,628	874,000	山車を新調することにより、地域の保存意欲向上と宮ノ越大工の技術伝承につながるものと評価できる。翌年度以降、製作した山車を活用する行事の盛大な開催と児童の参加促進が期待される。
5	教育、文化の振興	ソフト	澤田正春・澤頭修自写真展開催事業	木曽地域文化芸術資源活用実行委員会	昨年度実施した写真展を木曽郡全体で開催(会場を4から6箇所(大桑村、南木曽町追加)に拡大)。あわせてスタンプラリー、講演会を開催し、芸術文化に触れる機会を提供する。 ①広報費(344千円)展示作成(1,285千円)照明器具(158千円)スタンプラリー経費(29千円)講演会(30千円)雑費(91千円)	1,533,209	1,089,000	前年度の4町村(4会場)開催から郡6町村に広がり、地域内外より多くの方が来場し、木曽の魅力発信、文化芸術振興となった。当事業の額装品を活用し、引き続き多くの住民や観光客へ木曽の魅力を積極的に伝えていくことが期待される。
6	教育、文化の振興	ソフト	Local Active-Learning Project事業	木曽町	東京の大学生が夏季・冬季休暇を利用して開田高原に滞在し、中学生を中心に放課後学習支援を行うとともに、インターネットによる異文化交流のサポートを行う。 ①講師謝礼(156千円)旅費(121千円)住宅借上(285千円)雑費(49千円)	573,058	458,000	開田中学校、慶応大学双方の積極的な活動により、単なる放課後学習支援・短期間交流にとどまらず、つながり人口増に加え、つながりの密度も期待以上と評価できる。今後、他地域への拡大が期待される。
7	教育、文化の振興	ソフト	木曽ペインティングス	木曽ペインティングス実行委員会	全国からアーティスト等が集まり、木曽の山林資源を使った展覧会や町民向けにワークショップ、映画鑑賞会等を開催する。今年度は木祖村会場を設け、木曽町、上松町の3町村で実施する。 ①宣伝広告費(580千円)記録集作成(538千円)映画上映会(115千円)ワークショップ謝礼(300千円)参加者交通費(473千円)会場使用料(128千円)展示品発送費(127千円)雑費(95千円)	1,624,683	1,283,000	芸術家が木曽に集まり、地域を題材とし木曽由来のものを使い作品を作りあげた。様々な所で地域住民が作品を鑑賞し、作家と交流した。特に地元小学生が地域を舞台として芸術に触れるよい機会となった。さらに、空家を会場とする新しい空家活用の道を示した。引き続き住民を巻き込み、長期継続的に活動を定着させていくことが期待される。

平成30年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
8	教育、文化の振興	ソフト	宮ノ越長持保存会100周年継承記念事業	宮ノ越長持保存会	100周年を迎える日義宮ノ越地区に伝わる長持事業の記念誌を作成するとともに大箱長持・子供長持の作製する。 ①大箱小箱製作(73千円)箱用幕(339千円)花火(150千円)記念誌(320千円)	881,839	661,000	記念誌を地区内外に配布し、行事を広く知らしめる契機となった。保存会員は前年比2名増となった。人口減少が進む中にあるには微増ではあるが評価できる。今後の伝統継承が期待される。
9	教育、文化の振興	ソフト	木曾の麻織り10周年記念事業	木曾町	10周年を迎える県無形民俗文化財「麻織技法」を残すため、研究会の記録誌、「木曾の麻衣」の改訂、古い写真のデジタル化、講演会及びテレビ番組を制作するとともに、からむしの栽培及び視察研修を行い技術の伝承と後継者の育成を図る。 ①記録誌(59千円)改訂版(363千円)写真デジタル化(559千円)講演会(20千円)番組制作(653千円)からむし栽培(50千円)視察研修(195千円)	1,641,378	1,231,000	講演会の参加人数は見込みを下回ったものの、研究会員は微増と一定の成果はあった。県内外からリアクションがあったことを契機に麻織りに関する活動の活性化と技術の伝承が期待される。
10	安全・安心な地域づくり	ソフト	ハザードマップ作成による自主防災・地区防災意識の醸成事業	上松町	ハザードマップ情報の更新にあわせ、冊子、WEB、掲示用のハザードマップ作成し、自主防災力を高める。また地震等の災害に備えた救助用機材を購入し消防団の初期救助体制の充実を図る。 ①冊子(1,890千円)掲示用(810千円)WEB版(1,620千円)救急用機材(681千円)	5,656,500	4,000,000	作成したハザードマップは、町HPから見やすい場所にリンクがされており、住民による活用しやすい状況となっている。さらに、自治会と協力し、ハザードマップを支え合いマップ・地区防災マップに発展させるなど、住民を巻き込んだ防災対策に活用されているので、この良好な状態を維持していただきたい。
11	安全・安心な地域づくり	ソフト	災害に強い地域づくり推進事業	木曾町	御嶽山の入山規制が解除されるまで、山小屋や関係者と連携した「御嶽山安全パトロール隊」の活動を行う。 ①リフト借上料(307千円)装備品(234千円)貸出用ヘルメット(192千円)駐在費(2,360千円)山小屋宿泊費(2,085千円)	5,725,476	3,893,000	立入規制期間中においては規制区域への立入者の発見・通報、また、9月下旬の登山道一部規制緩和の際には、登山者の誘導や情報提供などパトロール隊による山の監視や啓発業務に効果が認められた。H31シーズンは7月の開山と同時に一部規制緩和を目指していることから、パトロール隊の役割が一層重要となるため、持続可能な取り組みを目指していただきたい。
12	安全・安心な地域づくり	ソフト	地域住民と小中学生が一緒に学ぶ防災教室	開田高原地域協議会	開田地区の小中学生と地域住民とを対象とした防災教室を開催するとともに秋の文化祭において啓発活動を行う。 ①非常用持出袋(194千円)非常食等(45千円)備品(191千円)雑費(14千円)	445,953	355,000	地域住民の参加が課題。地域防災力の向上とあるが、訓練・研修会参加者を通じて住民に効果が波及していない。防災にとって地域住民の自主性と協力は不可欠であり、その部分の効果が認められないため、なお一層の努力をしていただきたい。
13	安全・安心な地域づくり	ソフト	「地域を守るチカラになろう！」消防団員大募集!	木曾消防協会	ポスターやTシャツを制作するとともに、女性消防団員の交流会を開催することで、消防団の役割とやりがいを地域にPRする機会を増やし、消防団員の確保を図る。 ①ポスター制作(52千円)、Tシャツ制作(421千円)、交流会開催(51千円)	404,364	320,000	郡内の至る所で本事業のポスターを見かけるようになり、消防団員の募集に力を入れているということが伝わる。団員の獲得は、一朝一夕にはいかないものの、このような取組を継続することで、消防団員の増員を図り、地域防災力の向上に寄与していただきたい。

平成30年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曽地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
14	環境保全、景観形成	ハード	道路端草刈機による景観整備事業	木曽町	トラクターを購入し、地域協議会のボランティアスタッフが開田地域の道路沿いの景観整備を行っていく。 ②トラクター(7,922千円)ブームモア(3,062千円)	8,947,800	4,973,000	旧開田村の町道(20km)及び国県道(26km)全てをタイムリーに施工され、他地域に比べ良好な景観となっている。また、県委託費50万円の削減にも繋がった。
15	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	農業遺産 久保洞水路橋 魅力発信事業	南木曽町	明治42年築造の石造り水路アーチ橋で、県の農業遺産になっている久保洞水路橋について、専門家による調査を実施し、観光コンテンツとして活用する。 ①調査委託費(828千円) ②看板設置(335千円)	1,194,480	913,000	「信州の農業資産を巡る旅」(農政部農地整備課)に紹介している11選の施設に看板設置をしたとは十分評価できる。これに終わらず今後は、町の観光と連携した集客に寄与されることを期待する。屋根の防腐処理を望む。
16	環境保全、景観形成	ソフト	木祖村景観形成推進事業	木祖村	しらかば平別荘地周辺の支障木伐採するとともに、小木曽大原地区を桜の名所とするための雑木の伐採等環境整備を行い、木曽路の景観整備を行う。 ①しらかば平支障木伐採(1,620千円)大原地区環境整備(1,099千円)	2,376,000	1,900,000	村の観光施設等において必要な環境整備を行ったことにより、村を訪れる観光客などの維持及び増加が見込める。
17	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	東山公園環境整備事業(2年目)	三留野地域振興協議会	南木曽町三留野地区にある東山公園の支障木の状況調査、試験的な伐採及び危険防止対策を行うとともに、中山道を含む当該公園の周辺の観光マップを作成する。 ①支障木の調査・試験的伐採(2,431千円)、観光マップ作成(334千円)、危険防止対策(96千円) ②案内看板設置(131千円)	3,007,069	2,386,000	遊歩道を整備し、緑化木を植栽することにより、東山が気軽に行ける山になったため、地元の小学生や保育園児が公園で自然を満喫できる環境が整備できた。 また、景観の支障となる木も伐採したため、新たに観光客を呼び込むことが期待できる。
18	環境保全、景観形成	ソフト	花木で彩るスポーツ公園整備事業	大桑村	花木で彩られた大桑村スポーツ公園の魅力向上を図るため、公園内の枯損木等の伐採及び八重桜やハナモモ等の植栽を実施する。 ①伐採・植栽(1,466千円)、看板設置(88千円)	1,543,320	1,234,000	当公園は村内外から多くの人々が利用するスポーツ拠点となっており、樹木の適切な管理は景観面、安全面からも重要となることから、一層の管理徹底が望まれる。
19	環境保全、景観形成	ソフト	景観保全啓発事業	木曽広域連合	日本遺産木曽路の環境美化・景観保全を図るため、ごみ不法投棄防止啓発広報用車両「木曾かめ君」に日本遺産のロゴを加えたラッピングペイントに刷新するとともに、啓発シールを作成しごみ不法投棄防止及び日本遺産の周知・広報を行う。 ①「木曾かめ君」ペイント施工(381千円)、啓発シール作成(189千円)	604,692	427,000	木曾かめ君のペイントについては、新しくなったことで遠くからでも目立つようになり、アピール度は上がった。 啓発活動については、単年度ですぐに数値に現れるような効果を出すことは難しいと思われるため、今後も継続的に事業を実施し、あらゆる機会を活かしてより多くの住民や観光客等に粘り強く啓発を行うことで効果を期待したい。
20	特色ある観光地づくり	ソフト	中山道鳥居峠美しいトレッキングコースづくり事業	中山道鳥居峠観光宣伝協議会	鳥居峠の両入口側の石畳周辺の支障木伐採を行い、中山道の景観整備を行うとともにJRのさわやかウォーキングに合わせた誘客促進イベントを行い地域活性化を図る。 ①チラシ作成(196千円)ガイド料(30千円)支障木伐採(292千円)	500,356	399,000	中山道木曽路の中でも多くの人々が歩く場所であり、間伐や下草刈りにより観光客の安全と景観の確保ができた。また、蕨原宿関係者と奈良井宿関係者の連携が図られ、今後の景観整備や誘客促進に期待できる。

平成30年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曽地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
21	特色ある観光地づくり	ソフト	「山岳高原」伊那路・木曽路誘客促進事業	伊那路・木曽路広域観光連携会議	信州アフターDCとして、6月に名古屋駅において上伊那地区、南信州地区、木曽地区、長野県の共同ブースを設け、観光キャラバンを行う。 ①イベント運営費(973千円)ノベルティー製作費(445千円)送料(51千円)パンフレット制作(1,513千円)	1,468,833	1,175,000	信州アフターDC事業と絡めることで、JR東海グループと連携し商品造成や誘客促進を図ることができた。併せて御嶽山の安全対策等についてPRしたことで、今後の登山者や観光客の増加が期待できる。
22	特色ある観光地づくり	ソフト	信州・上松イルミネーション事業	上松観光開発有限公司	孟宗竹とLED照明を組み合わせた「竹イルミネーション」を製作し、公開する「信州・上松イルミネーション」を開催し、冬季期間の観光の柱にする。 ①イルミネーション制作用機材等(846千円)、会場整備(148千円)、竹運搬費(43千円)、電気工事(135千円)、広告宣伝(96千円)	1,059,589	847,000	観光客が減少する冬の観光客増加に繋がるイベントではあるが、今回は周囲(地域住民)との連携不足やPR不足の感が否めない。今後継続する中で改善を重ね、定着するイベントとなるよう期待する。
23	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	観光地域づくりの推進	公益財団法人妻籠を愛する会	中山道馬籠宿にある「一石柵立場茶屋」周辺の環境整備及び薪割のための機材を購入するとともに、外国人を対象としたアンケート調査を実施し、その動向をデータ化し、国際観光地域づくりを推進する。 ①刈払機3台(170千円)、チェンソー2台(134千円)、ブロワ(43千円)、薪割斧2本(22千円)、一輪車(11千円)、熊手3本(10千円)、薬剤希釈タンク(65千円)、高枝打ノコ(35千円)、箸2,000本(281千円) ②薪割機(258千円)	1,030,644	810,000	順調にハイカー数が増加しており、サービスも好評の様子が見受けられる。主体的に工夫して観光地域づくりに取り組んでおり、引き続き木曽を代表する観光地として発展することが期待できる。
24	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	アウトドアビレッジおんたけ王滝	セルフディスカバリーアドベンチャー実行委員会	アウトドアスポーツイベント(MTBレース・ダートマラソン)を開催するとともに、アウトドア・アクティビティが活発な村を発信し、観光産業の活性化や交流人口の増加を図る。 ①トイレリース(218千円)、車両リース(144千円)、運営機材リース(162千円)、開催・運営委託料(4,662千円)、商品券等印刷費(73千円)、セミナー開催費(194千円) ②ドローン本体等(550千円)	6,257,137	2,542,000	前夜祭を実施したことで、関係事業者のみでなく一般村民もイベントそのものに興味を持ち関わる事ができたことは大きな成果であり、次年度以降の事業の活性化が期待できる。
25	特色ある観光地づくり	ソフト	「楽器バンドーラの制作と演奏」実習会	一般社団法人木祖村観光協会	木工体験を組み込んだ滞在型の観光地域づくりを推進するため、楽器「バンドーラ」の制作に係る講師の育成を図る。 ①教材費等(300千円)、講師等謝金(140千円)、会場使用料(29千円)、チラシ印刷等(62千円)、損害保険料(18千円)、消耗品費(千円) 対象外経費(交流会開催費)(34千円)	569,848	408,000	「バンドーラの制作に係る講師の人材育成」が事業の目的であったが、体験参加者が今後の担い手となる自覚を持って取り組めたかどうかは不明。 しかし、演奏会や仲間づくり等の活動を行う参加者同士の会が結成されたことは、今後の滞在型観光プログラムとしての発展につながるものと期待できる。
26	森林づくりと林業の振興	ソフト	水源の森を育てる地域間交流事業	木曽広域連合	森林整備の重要性について、木曽川下流域及び愛知用水利用地域の自治体・企業・民間団体等を対象とした交流・啓発活動を行うほか、下流域の児童・生徒を対象とした野外体験学習の受入体制の構築、首都圏での木曽産材及び木工関連製品のPRを行う。 ①愛知用水利用地域(874千円)森林整備啓発(578千円)対象外経費(157千円)	1,620,275	1,161,000	下流域住民を中心に、「森林」への理解を深め、その整備の重要性を再認識することに加え、これらの取組により上下流交流を深めることができた。 また、木曽産材や伝統木工芸品等の普及促進については、息の長い幅広い取組が重要なことから、今後の更なる展開を期待する。

平成30年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
27	森林づくりと林業の振興	ソフト・ハード	上松木工・木育拠点整備事業	上松町	上松技術専門学校修了生が木工技術の向上を図れる場を整備・提供するとともに、オリジナル家具や木工品を開発し、地域木工業の振興を図る。 ①工具購入費(931千円)、資材費(610千円) ②機械購入費(2,176千円)	3,226,233	2,481,000	地域おこし協力隊制度を活用した上松町の木工の拠点が整備されたといえる。今後はふるさと納税返礼品の他にも木工所を活かした取組が期待される。
28	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	薬草の栽培・収穫・乾燥設備の整備事業	南木曾薬草の会	薬草の圃場整備及び試験栽培を行うとともに住民を対象とした薬草の観察会・講演会を開催する。 ①圃場整備(171千円)試験栽培(148千円)収穫設備(20千円)乾燥設備(100千円)講演会(40千円)	478,536	358,000	薬草栽培をきっかけに遊休荒廃地を再生し、鳥獣被害の軽減が図られた。栽培困難種の栽培成功、薬草の特産品開発等により地域活性化の芽が生まれつつある。会員も増え今後の活動、地域活性化が進むと思われるが、経営収支を明らかにし、採算性を考慮した事業展開が期待される。
29	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	木曾踊りで地域活性化事業	妻籠木曾踊りの会	提灯、太鼓、統一衣装を購入し、妻籠ふれあい館において、4月から10月までの毎週金曜日に地元住民や観光客を交えて木曾踊りを行う。 ①提灯(144千円)太鼓(49千円)浴衣・手ぬぐい(383千円)	560,434	448,000	観光客に風情を味わっていただくため、地元住民が自発的に風情を感じさせる服装等で参加するなどの意識醸成が望まれる。提灯、太鼓、衣装の整備でできた雰囲気に見合う地域住民の取組姿勢の向上を期待する。
30	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ハード	「えごま」の生産効率改善事業	上松町	上松町の特産品「えごま油」の生産力アップのため、えごま搾油機を増設するとともに、えごま栽培体験会を実施し生産者の拡大を図る。 ②えごま搾油機(3,271千円)	3,271,104	1,885,000	エゴマ搾油機の新たな導入でエゴマ油の搾油量が増加し、エゴマの栽培による遊休農地解消では、約1haの解消が出来た。 また、エゴマ栽培体験会の開催により、エゴマ油の生産者も増えるなどハードを活かす取組ができた。
31	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	テクノロジーカフェ事業	上松町	ドローンの活用、画像解析技術、情報ネットワークや自然エネルギー等のテクノロジーを学ぶ研修会を開催し地域の人材育成を図る。 ①講師謝礼(90千円)カメラ等(222千円)パソコン(66千円)雑費(52千円) ②ドローン等(272千円)	614,439	476,000	当事業の各講座に興味を持っている人の掘り起こしという意味では、定員割れはあったものの一定の成果は得られた。子どもから高齢者まで幅広く学びの機会を提供することを踏まえ、講座の開催日時等を精査し、継続的な活動を期待する。
32	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	木曾地域木材産業推進事業	木曾木材工業協同組合	木曾地域の伝統工芸品を幅広く情報発信するために、ホームページを作成するとともに、外国人観光客に対応したQRコードを掲載したパンフレットを作成する。 ①ホームページ開設(698千円)チラシ・QR等(371千円)	983,556	786,000	インターネットの活用や木曾材木工芸品の紹介パンフの作成配布により、木曾地域の伝統工芸品を幅広く情報発信する基礎ができた。 今後も地域の木材産業の一層の振興を図るため、ホームページへのリンクの充実や多くの関係者との更なる連携が期待される。
33	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	食文化の継承と発展	地域特産品開発事業実行委員会	王滝村のどんぐり文化の魅力を再発見するため、どんぐりの性質や特性、機能性・効果について大学と共同研究を行い、その成果をもとに安定的・実用的な特産品開発を行う。 ①大学委託料(540千円)報告試食会経費(1千円) ②粉碎機(214千円)	755,352	592,000	村の郷土食であるどんぐり粉の研究、開発を行い、今後の食を通じた観光地づくりに繋げる取組が行えた。

平成30年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曽地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
34	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	川等活用振興事業	木祖村	ヤマトイワナの人工産卵場の造成、テンカラ釣り専用区域の選定、河川ステップの設置により河川の活用を図るとともに、あやめ池の水を抜いて行われる改修工事にあわせ、イベント(料理コンクール、記録番組制作等)を実施する。 ①ヤマトイワナ人工産卵場(65千円)テンカラ釣り事業(502千円)あやめ池イベント(料理コンクール335千円、記録番組440千円、備品204千円) ②河川ステップ(513千円)	1,787,409	1,402,000	村内の川等水資源を活かした観光振興のため、漁場の整備、ヤマトイワナの増殖および教育活動、イベント開催など幅広く事業を実施し、多くの参加者により村内外に向けたPRが出来た。また、次年度以降につながる環境整備がされたので、取組の継続と観光客・宿泊客等の増加に期待したい。
35	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	「発酵のまち・木曽町」情報発信強化事業	木曽町	のぼり、チラシ、アニメーションを作成するとともに、県主催の発酵サミットにあわせトークショーを開催し、発酵の町としての発信力を強化する。 ①のぼり製作(281千円)チラシ製作(218千円)アニメ作成(1,920千円)トークショー(159千円)	2,919,326	2,062,000	のぼり旗の使用や、チラシの配布により、蔵開きの来場者が増加するなど「発酵のまち」のPRに一定の効果はあった。今後の地域住民を巻き込んだ情報発信の強化に期待する。
36	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	とうもろこし振興事業	木曽町	昨年度、試行実施した「とうもろこしオーナー制度」の拡大を図るため、制度の周知・PRを強化する。 ①新聞広告料(368千円)のぼり旗(93千円)	439,560	351,000	新聞広告等による宣伝により、オーナー申請数が目標の1.5倍にもなり、開田高原のとうもろこしをPRできた。取組農家13戸への早期現金収入による経営支援もできたことから、地域の特産品(とうもろこし)と観光を結びつけた本事業の更なる拡大を期待する。
37	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	歩ける木曽路再生プロジェクト	木曽町	木曽町日義地区の中山道沿いにある「石作駒石」(山村蘇門代官の家老)の墓石周辺を整備し、中山道ルートの魅力向上を図る。 ①樹木整備(400千円) ②造成(150千円)看板設置(389千円)木柵設置(389千円)	1,328,400	1,015,000	当事業の整備で中山道の魅力向上が図られた。観光客増加のための具体的な効果検証と今後の積極的な情報発信が望まれる。地元住民の景観維持への参加促進に関する取組も期待する。
38	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	木曽ブランドコンセプトに基づく情報発信事業	木曽観光連盟	昨年度改修したホームページ「木曽路.com」に、英語表記のコンテンツページ(外国人ライターによるPR記事など)を追加し、外国人の観光誘客を図る。 ①ホームページ改修(4,968千円)アドバイザー謝金(49千円)	4,968,000	3,974,000	インバウンド向けの情報を充実させ、各市町村観光協会等の情報を一元化させることで、統一的な情報発信ができるようになったことは来訪意向の喚起に必要である。ホームページの公開が3月であったため、今後アクセス数値と効果の検証をしていただきたい。
39	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	開田高原魅力づくり事業	木曽おんたけ健康ラボ	開田高原ヘルシータウン構想の一環として、やまゆり荘をリラクゼーションの拠点とするため、プログラム開発、ハーブガーデン整備、宣伝広告を行い、滞在型観光の魅力づくりを進める。 ①リラクゼーション商品開発(769千円)ハーブガーデン整備(1,043千円)宣伝広報(574千円)	811,360	649,000	本事業のメインといえるリラクゼーション商品の開発とそれによるリラクゼーションプログラムの開発が未実施のため、やまゆり荘の新たな利用者増にどれ程寄与できるか不明である。今回整備したハーブガーデンを活用し、温泉とハーブを組み合わせた新たなプログラムによる利用者増を期待したい。
40	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	「木曽路」古木を訪ねて事業	木曽広域連合	木曽郡内の古木紹介マップに掲載されている古木の案内看板を2基設置するとともに古木をめぐるラリーを実施し、誘客を図る。 ①ラリーイベント(455千円) ②案内看板設置(557千円)	884,660	639,000	既存の資料から発展させ、観光客の周遊性を高める取り組みであることは評価できる。7月から11月までのワードラリー参加者は目標100名に対し72名であったことから、更なる周知や仕掛けの検証をしていただきたい。

平成30年度「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果(木曾地域)

番号	主事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 ①:ソフト事業 ②:ハード事業	事業費(円)	支援金額(円)	講評
41	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	「南木曽ろくろ細工」をもっと知ってもらうための看板・衣装の整備	南木曽ろくろ工芸協同組合	南木曽町の伝統工芸である南木曽ろくろ細工をより深く知ってもらうために、スタッフジャンパー、白装束をそろえ統一感を出すとともに、案内看板の建て替えを行い、ドライバー等へ周知を図る。 ①スタッフジャンパー(616千円)白装束(302千円) ②看板2基(966千円)	1,884,708	1,458,000	伝統的な木地師の白装束及び南木曽ろくろ細工のロゴマークが入ったスタッフ衣装の整備が行われ、効果的なブランドのPRができた結果、工芸街道祭りの入込客数は目標を上回った。看板については、設置が工芸街道祭りに間に合わなかったため今後効果を検証することとなるが、衣装の活用と併せ、木地師の里の活性化につなげていただきたい。
42	その他(地域の特色、産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	地元産そばを起点とする地域活性化プロジェクト2	木曾のそば推進協議会	木曾産のそばの消費拡大を目指し、郡内のそば店をめぐるスタンプラリーを実施するとともに、「そばの花」の見どころを紹介することで、木曾のそばの魅力を味覚と視覚で伝える。 ①スタンプラリーリーフレット(322千円)ポスター(41千円)賞品(46千円)新聞広告(76千円)雑費(41千円)	419,294	335,000	スタンプラリー応募状況の検証内容を踏まえ、次年度以降の効果的な普及を期待する。店舗へのリーフレット、応募箱の単なる設置であったか、客への積極的な応募の誘導をしたか等、当事業への店舗間の温度差についても検証し、各店舗の協力体制の強化をより図っていただきたい。
43	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木曾 明日への一歩 映画祭	特定非営利活動法人上松こども未来会議	教育、高齢者福祉、動物愛護及び障がい者福祉に関する映画の上映会を開催し、地域の課題への理解と関心を高める。 ①上映会開催費4回(623千円)	619,891	456,000	幅広い年齢層から多くの参加があり、教育、高齢者福祉、障がい福祉、動物愛護の各内容とも、映画の上映会を通じて問題意識の共有化が図られた。アンケート結果が、どのように活かされていくのかが不明なため、今後の地域づくりに結びつくことが望まれる。
44	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	移住者ネットワークから始める移住情報発信事業	木祖村	移住者の意見を取り込んだ、移住者目線の移住PR動画を制作し、ホームページや移住セミナー等で活用する。 ①動画制作(994千円)	993,600	794,000	現移住者へのサポートの様子を視聴する移住検討者に安心感を持たせている内容となっている。また、不便な点などの負の意見も包み隠さず盛り込むなど、動画に説得力を持たせる工夫も見える。今後の移住促進ツールとしての活用を期待する。
45	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	元気を生み出す地域づくり事業	開田高原倶楽部	開田高原の魅力を最大に生かし白菜やとうもろこしなどの野菜やそば、すんきなどの特産品販売促進のためのPRを行う。またR361号線沿道景観整備として草刈り作業を会員で行う。 ①特産品販売PR(258千円)沿道整備(174千円)	432,070	324,000	地元関係団体と連携し、効果的なPRをしたことで、売上げ、観光客入込の増加につながった。景観についても、課題を明確にし、行政に対して具体的な提言がされた。今後、行政との連携を図るとともに、会員の増加を図り、活動が活性化することを期待する。
46	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	南木曽町の「滞在したくなる地域資源」の映像集制作事業	南木曽町	四季の観光地や祭り等をドローンなどにより撮影し、観光PR動画を制作するとともに、SNS等の発信を住民協働で行うことで、滞在型観光客の増加を目指す。 ①映像制作(2,204千円)	2,203,200	1,762,000	ドローンならではの臨場感あふれる映像が製作されている。この映像を用いて滞在型観光客の増加につなげるためにも、情報発信の際はただの映像の紹介だけにならないようにしていただきたい。